



なかよく かしこく 元気よく

5月号

令和5年

5月15日

文責 黒木幸博

5年生の集団宿泊教室がありました

11日(木)～12日(金)、「あしきた青少年自然の家」に行き、集団宿泊教室を行いました。

「水俣に学ぶ肥後っ子教室」とは

水俣病への正しい理解を図り、差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに、環境や環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することを目的に、県内全ての5年生が学習しています。



また、子どもたちにとって、野外活動や公共施設での集団生活は貴重な体験です。

今回の経験をこれからの学校生活に生かされると期待しています。

これからの予定

※他にもいろいろありますが…

5月後半

○花いっぱい交流(6年) 15日

○なすなの会読み聞かせ 19日

6月 心のきずなを深める月間

歯と口の健康月間

食育月間

○プール開き 12日以降

○小中合同避難訓練 20日

○芸術鑑賞 23日

○田植え(5年) 後半

コロナ禍が終わり、地域の方との交流が再開し始めました。地域の方との交流は子どもたちの学びがより豊かなものとなります。地域の方のご協力に感謝です。

6月は「心のきずなを深める月間」です。道徳や人権学習はもちろん、日常の中で「きずなを深める」心と態度を育てていきます。ご家庭でもよろしく願います。

4月27日(木)PTA総会がありました

校長挨拶の中で、以下のことについて話をしました。特に、二つ目の「いじめ」については、ぜひ、ご家庭でも話題にしてくださいと思います。

挨拶の中で話したこと

○学校と家庭の「協力体制」が大切
先生と保護者が協力し合い、助け合っ
て子どもたちを見守り、育てていきま
しょう！

○いじめをしない、させない、許さない
友達とのけんかやトラブルは、経験を通
して、けんかやトラブルをしない力を
高めます。しかし「いじめ」は違
います。いじめをする、させる、許す子
どもは、大人になってもそういうこと
をしてしまうでしょう。

湯前小の子どもたちには「優しく温か
く強い心」を持った大人になってほ
しい。だからこそ、子どもの頃から「
いじめをしない、させない、許さない
」心と態度を育てていきましょう！
(学校と家庭が協力し合っ
て！)

校長より

為せば成る 為さねば成らぬ 何事も

成らぬは人が 為さぬなりけり

(上杉鷹山 江戸時代 米沢藩主)

私が好きな短歌というより大切にしていることで簡単に言えば「何事も取り組まなければ(努力しなければ)結果はついてこない」ということです。

私は教員として「いつかは母校で…」という夢がありました。それが今実現できていることに幸せを感じています。(これまで頑張ってきた結果(ご褒美)と思っています)

子どもたちには、夢や目標を持ってほしい。そして、その夢や目標に向かって、今できることに努力することを頑張ってもらいたい。(夢や目標の内容は、どんどん変わっていてもいいと思います。)

- ・テストで△△点とるぞ！
- ・野球チームでレギュラーになるぞ！
- ・ダンスコンテストで入賞するぞ！
- ・パティシエになってケーキ屋さんをするぞ！
- ・イラストレーターになるぞ！ 等

がんばれ！ 我が後輩たちよ！